



岡本 榮三郎

通学路の安全対策について

問 通学路の安全対策について、本年各地で登下校時の児童が死傷する事故が立て続けに発生した。公明党は5月16日文科科学大臣に「通学路の安全対策について」の緊急提言をし、5月30日には文科省、国交省、警察庁から全国に通知が発せられすべての公立小学校で8月31日までに総点検がなされたと思うが、その結果はどうであったか校別に伺う。

答 危険箇所数は全部で34箇所、天王小2、岐尼小10、久佐々小10、田尻小3、歌垣小3、東郷小6箇所であった。教育委員会、道路管理者、警察の三者が集まりすぐに対応可能な箇所8、工事等時間を要するが対応可能な箇所17、今後対応策の検討箇所9で府教育委員会に報告し具体的な対応を図る。

一、通学路の安全対策について 二、自転車走行環境の整備について

自転車走行環境の整備について

問 自転車走行環境の整備について、近年自転車利用者の急増に伴い自転車事故が相次いでおり死傷者も後を絶たない現状である。

現在中学生は一部を除き自転車による通学で今後新学校構想が実現しても、西の地域の中学生は一部を除いて自転車通学となる。

事故件数の急増は本来自転車は車両であるにもかかわらず緊急避難措置として歩道走行を可とした昭和53年の道路交通法の改正が大きな原因であり、歩道を走らせたことにより歩行者に近い存在として認識され、歩道では「歩行者優先」というルールを守らなかつた、現状の車道の多くが自転車が行くことを考慮に入れた設計構造となっていないため、特に



危険性の高い交差点において、事故の7割が発生している。新学校建設に伴う自転車走行環境の整備計画をどのように考えているか。

答 自転車道と歩道と、また車道といった分離は困難であると考えている。新学校周辺の平野線についても歩道は確保すべしで計画をし、自転車道については、歩道を通行するところやむを得ずかと考えるが、新学校が創立されても交差点をはじめ安全な自転車通学ができるよう、環境整備を進めていく。

一般質問



谷 義樹

国道477に関係して

問 R477改修促進期成同盟の、今年度の取り組みは？

答 川西市、亀岡市、南丹市、そして豊能町、能勢町の市長、町長及び議長が構成員で、今年も7月に総会を開催した。活動内容については検討中で、今後各管内において要望活動を実施する。

問 一の鳥居から光風台の間の、カーブ改修に取り組めないか？

答 一番早く改修されたのがこの間で、今となつては一番古くなつている。利用者も多いため、再改修を強く働きかけていきたい。

問 矢立坂の歩道設置計画は？

答 早くから要望しており、土木も気にかけている。今後も強く働きかけていきたい。

一、国道477に関係して 二、農業振興調査研究事業について 三、学校プールの排水について

問 東郷地区創設非農用地に、「道の駅」建設事業を導入出来ないか？

答 今後この「道の駅」整備に向けては、地元関係者の熱意と、また意向を踏まえ、本町としても地域振興に資する施設とするべく、検討を進めていく。

農業振興調査研究事業について

問 調査研究の進捗状況は？

答 現在農業公社的な機能を有する組織、また担い手の支援策などについて、本町農業の現状や国の施策などを踏まえ、検討を進めている。

問 農業公社敷地や、農業新規参入支援、山村留学等に、学校施設を活用してはどうか？

答 農業振興施策も視野に入れ、地域の意向も踏まえた上で、できればいい。

ろんなバランスの意味から東郷区のほうにウエイトを考えた中で、総合的に検討していきたい。

問 学校プールの排水について

問 東郷地域での、学校プール排水に伴うトラブルを認識されているか？

答 プール清掃の排水で、近隣の田んぼ、また水利管理者に御迷惑をおかけしたことは認識している。

問 今後、排水に伴う下流域への周知を、どうするつもりか？

答 この事案をもとに全学校のプール管理マニュアルを点検した。ほとんどの学校は排水に際し、近隣の区長や水利組合に連絡していたが、一部の学校ではそれが抜けていた。次年度から、近隣地区への連絡を徹底するよう、指導を行った。